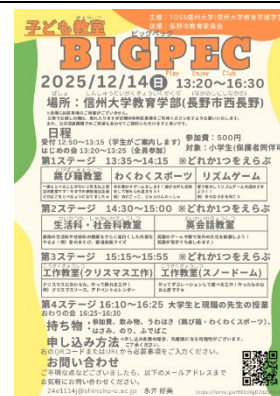


令和 7 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生生活支援事業活動報告書

団体等名	TOSS 信州大学	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学教育学部 2 年
	ふりがな氏名	ながいこのみ 永井 好美
教職員責任者	所属大学名・職名・ふりがな氏名	信州大学・教授・にしかずお 西一夫

活動名	BIGPEC	
実施時期	12 月上旬	
実施場所	信州大学(教育キャンパス)の複数施設内	
活動内容	<p>1. イベントの概要 BIGPEC とは長野市周辺の子どもたちを集め、子ども教室を行うイベントです。 大学生が主となって、子どもに小さな成功体験を積み、学ぶ楽しさを教える講座をいくつも用意する予定です。また、現職の先生にもご協力いただき、教科や学年を越えた、学校とは違った授業も行います。</p> <p>2. 日時 2025 年 12 月 14 日(日) 13:20~16:30</p> <p>3. 講座日程 13:20~13:25 はじめの会 13:35~14:15 第 1 ステージ 【跳び箱教室・わくわくスポーツ・音楽】 14:15~14:30 移動・休憩 14:30~15:00 第 2 ステージ 【社会科・生活科教室(低/高)・英会話教室(低/高)】 15:00~15:10 移動・休憩 15:15~15:55 第 3 ステージ 【工作教室(クリスマス工作低/高*)(スノードーム低/高)】 15:55~16:10 移動・休憩 16:10~16:25 第 4 ステージ 【学生による授業(5 分)・現職講座(10 分)】 16:25~16:30 おわりの会 *低:小学校 1、2 年生 高:小学校 3~6 年生 2 教室に分ける →工作を第 3 講座に変更 工作を持って講座間を移動する負担を削減</p> <p>4. 講座の詳細 ・わくわくスポーツ(しっぽとり、王様ドッジボール、新聞紙じゃんけん) ・跳び箱・リズムゲーム ・生活科(日本の伝統的あそびを体験しよう) 社会科(長野の周りは何に見える?) ・英語(自己紹介と missing game・道案内をしよう)</p>	



- ・工作（アドベントカレンダー・クリスマスリースづくり・スノードーム）
- ・学生講座（おいこっちだよ）現職講座（回文）

5. 活動の様子とアンケート結果

各講座での活動様子を載せる。（左から工作低学年、リズムゲーム、社会科、生活課、英会話低学年）



6. 実施までの流れ

実施するにあたって、運営側、講座検討側に分けて計画を立て、活動を実施しました。講座を検討するスケジュールは以下のとおりです。また、連絡事項検討事項をまとめるため、Google ドキュメントを活用しました。

（https://docs.google.com/document/d/1abMp7PnrVKwR0bDi4N_louffUF5YctPvAv6QYYa4tTk/edit?usp=sharing）

～5/20	上級生集約
5/22	講座だし
～6/12	一年生集約
	講座決め・チーム決め
6/19	講座代表決め
6/26、7/3、7/10	内容決定
7/17、10/2、10/19	流れ仮決定
10/16、10/23、10/30	指示発問仮決定
11/16、11/13、11/20	指示発問確定
11/27、12/4、12/11	最終練習、跳び箱練習
12/14	当日

※仮決定のタイミングで必ず現職の先生に見てもらい、アドバイスをいただく

時期	代表が担当	学生メインで	現職の先生にも協力を仰ぎたいもの
5月	・参加者集約	・講座内容決め	
6月	・教室振り分け ・会場を取る ・プロジェクター申請 ・現職の先生検討日程決め	毎 週 木 曜 日 20:00~20:50、教育キャンパスで学生検討会 ・講座担当、講座詳細	
7月	・チラシ作り	・講座詳細、指示発問会議	
8月～ 9月	第4講座講師依頼 ⇒小松先生に依頼したい ・長野市教育委員会へ後援申請、協賛依頼	・指示発問話し合い、決定 ・指示発問練習	福嶋先生 ⇒Zoom 等で毎週木曜日の検討会に助言を頂く。
10月	・申し込みフォームづくり・イベント保険加入 ・跳び箱を借りる ・チラシ発注 現職の先生検討⇒跳び箱を準備しておく		木内先生 ⇒跳び箱指導の検討
11月・ 12月	チラシ配布、参加者へメール 保険申請 スタッフの動き細案作り 日程表、アンケート、受付用名簿作る 当日配布資料（日程表、アンケート、講座資料）印刷		先生方 ⇒各学校で周知をしていただく。
一週間前、 前日	・通し検討 ・プロジェクター学務に取りに行く ・会場準備 ・受付(おつり用意)		
当日	ミーティング、各講座準備 1年生などに教育キャンパス案内、確認		小松先生 ⇒現職講座
活動の成果と今後の課題	<p>本イベントは、「子どもの成功体験の積み重ね」「子どもたちへの学びの楽しさの伝達」、そして「大学生自身の成長」を目的として実施いたしました。</p> <p>今回の活動において特に達成できた点は、跳び箱を飛ぶことができなかった12名の子どもを飛ばせることができたことです。飛べたことを何度も確かめるように何度も何度も飛んでみる姿が印象的でした。小さなことではありますが、こどもの成功体験の積み重ねにつながったと感じています。</p> <p>また、「学校や学年を越えた子ども同士の交流の場」を創出できたことです。講座では机を合わせたグループ活動を多く取り入れ、互いの顔や制作過程が見える環境作りを工夫しました。その結果、多くの場面で子ども同士の関わり合いが生まれ、異なる小学校の児童が協力して取り組む姿が見られました。特に、大学生による振り返り会では、「社会科」の講座におけるイラスト作りにおいて、多くの協働と笑顔が生まれたとの報告がありました。「BIGPEC」という場が、地域の子どものたちにとって、学校外の同年代と関わる貴重な機会となったのではないかと感じています。</p> <p>また、私たち大学生にとっても、イベントを企画・実践する過程で、企画力や現場での柔軟な対応力等を身に付けることができました。地域の子どものたちと関わる機会を提供できたこと自体も、大きな成果だと考えています。</p> <p>終了後、保護者様からは「地図作りが面白かった!」と、お子様が興奮冷めやらぬ様子で話して</p>		

いた旨をメールにてご報告いただくなど、「学びの楽しさとモノづくりの喜びを感じられたようです」との身に余る評価をいただくことができました。その他、参加した子どもたちや保護者様より、以下のような感想をいただいております。

【参加者の声】

子どもより

またやりたいです。

とべなかったとびばこがとべるようになってうれしかったです。だいがくの人たちにはげまされたりしてくれてうれしかったです。

クリスマス工作がむずかしくて、でもむずかしくても完成したらやったかいがあった。楽しかった。

保護者様より

生活科は、普段なかなか遊べないお手玉やコマで遊べて、いろいろな経験ができてよかったです。普段集中力が続かないわが子も、一つ一つのことに集中して取り組んでいたようです。

将来先生を目指している学生さんとの交流は、親にとっても勉強になりました。

一方で、運営面では保護者様からの忌憚のないご意見や、学生スタッフの連携不足といった課題も浮き彫りとなりました。以下に、主な課題点をまとめました。

【今後の課題】

運営体制（学生側）

- ・会計の仕組みが複雑で分かりにくかった。
- ・準備期間中に中だるみが生じ、期限が迫っているにも関わらず危機感が不足していた。
- ・体育館使用や配布物に関するトラブルがあったことが不安だった。
- ・事前の検討会への参加率にばらつきがあり、当日の連携に不安が残った。

広報・周知（保護者様からのご意見より）

- ・スポーツ講座（王様ドッジ等）において、意欲が低い子どもへのサポートをより手厚くしてほしい。
- ・持ち物の詳細（汚れてもいいタオルであること、体育館講座での保護者の上履きの要不要など）を事前に詳しく知らせてほしい。

今回の活動では多くの課題も残りましたが、それ以上に子どもたちの笑顔に触れ、学生自身も多くの学びを得ることができました。これらの経験を糧に、次回の活動ではより良い運営を目指してまいります。信州コンソーシアム様のご支援のおかげで、このような貴重な機会を得ることができました。心より感謝申し上げます。

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。

※本報告書と併せて、活動内容報告動画及び支出明細書（領収書添付）を提出してください。

※提出された活動報告書等一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。